

No.595

APRIL  
2026



リニューアルしました!

# はげまし

For the Riot Policemen  
& Members

一般社団法人 機動隊員等を励ます会



さっぽろ雪まつり警察犬の会場警戒

## CONTENTS

P2 さっぽろ雪まつり警備(北海道警察)

P3 警視庁 第五機動隊新隊舎落成式

P4 第45回千葉支部激励会

P5 第48回大阪支部激励会

P4-5 「はげまし」紙面をリニューアル

P6-8 Member's Lounge

# さっぽろ雪まつり警備

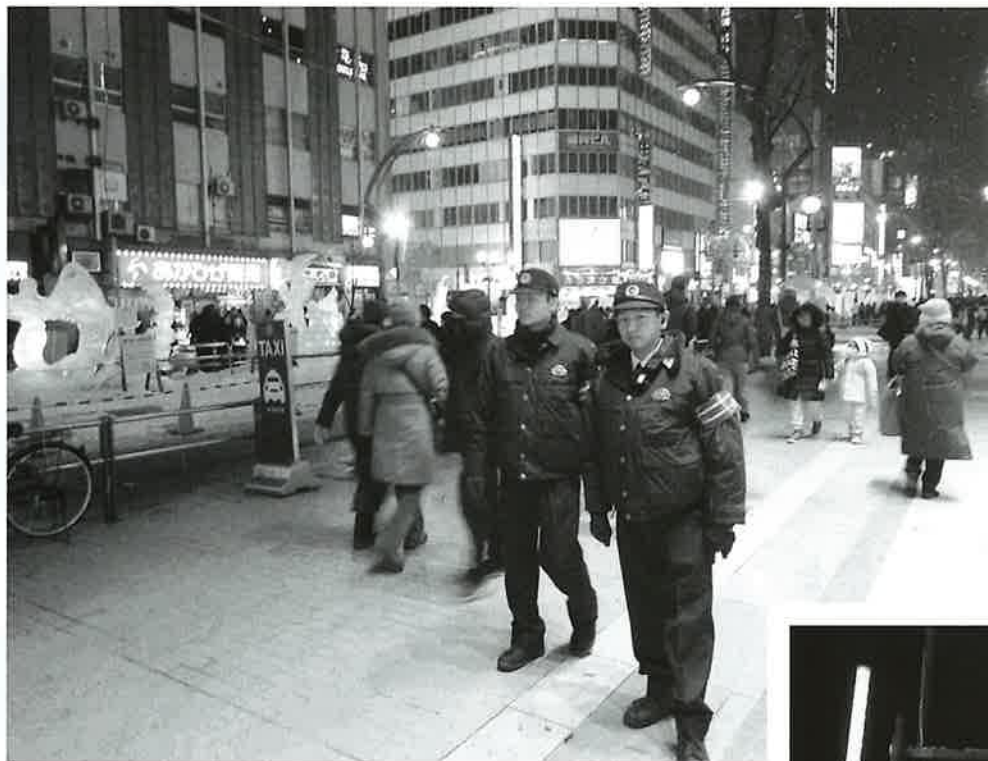
## 北海道警察機動隊が活躍

今年で76回目を迎えた「さっぽろ雪まつり」。

2月4日から11日までの8日間行われ、その間の来場者は約390万人、

前年対比16.8%増とコロナ禍以降最多の来場者となった。

国際的知名度の高い観光イベントにおいて機動隊員等が警備にあたった。



すすきの会場における警戒状況

今年のさっぽろ雪まつりは、大通会場、すすきの会場(ともに札幌市中央区)及びつどーむ会場(札幌市東区)の3会場で、合わせて209基の冰雪像が展示された。

特に大通会場では、恒例のプロジェクトンマッピングにより「栄光に輝くサラブレッド」及び「会津鶴ヶ城」の大雪像を彩り大盛況となったほか、各種ライトアップイベントで幻想的に照らされた雪像が多くの来場者を魅了した。

雪まつり警備では、極寒期の過酷な環境のなか、警察官延べ約2,700人、警備員等延べ約2,600人に及ぶ大規模な警備体制をとったほか、訪日観光客が増加している情勢を踏まえ、翻訳資機材等を用いた外国人対応の強化を図るとともに、雑踏警備対策室の指揮の下、各部隊が連携し不審者、不審物件に対する警戒や観光客への地理教示等を適切に実施した。

道警機動隊は、警備の主力として最も人出の多い大通会場において遊動警戒にあたったほか、大雪像近くに新



大通会場の混雑状況



車両突入防止対策



警備広報の状況

設した警察専用監視台で多言語を用いた警備広報による混雑緩和対策を実施した。

また、テロ対策として、大型バス等を用いた車両突入阻止による歩行者天国路線・会場内の安全確保対策を講じたほか、警備犬部隊、爆発物対応部隊、ドローン即時対応部隊等の専門部隊を配置して警戒強化を図り、各会場における雑踏事故及びテロ等違法行為を未然に防ぎ警備を完遂した。

# 警視庁第五機動隊 新隊舎落成式



筒井警視総監



第五機動隊西山隊長



新庁舎内覧の様子



新庁舎内覧の様子

## 当会伊澤昭則常任理事、樋口眞哉相談役が落成式に参列し、伊澤常任理事が祝辞を述べた。

警視庁第五機動隊の新隊舎落成式が2月5日、東京・新宿区市谷本村町において実施された。

落成式には、筒井洋樹警視総監をはじめ幹部、および国土交通省等から来賓が招かれた。

旧隊舎は建築から62年が経過し、老朽化が進んだため、旧特科車両隊敷地と東京都警察情報通信部倉庫の跡地、旧財務省研修所跡地を併せた国有地に、「市ヶ谷機動隊庁舎」として新隊舎を建設。警視庁機動隊では初となる第五機動隊と特科車両隊との合同庁舎となっている。

式辞で筒井警視総監は、屋上のレスキュー訓練施設や太陽光パネル、一定期間の連続運転を可能とする非常用電源、大容量の燃料スタンドなど、環境面への配慮や機能面の充実が図られた新隊舎の施設・設備を紹介し、「第五機動隊は、昭和25年9月、『第五方面予備隊』として発隊し、昭和32年4月に『第五機動

隊』に改称され、今日まで76年の永きにわたり、首都東京、ひいては我が国全体の治安維持に努めてきた。隊員諸君には、新隊舎の落成を機に決意を新たにし、西山隊長指揮の下、隊訓である『剛健・優美・協和』を改めて胸に刻み、都民・国民の安全・安心を守るため、職務に全力を尽くしていただきたい」と述べた。

来賓の伊澤常任理事は、「治安の砦としての重厚さを備えながらも、利用される方々に細やかな配慮がなされており、各種訓練施設も充実し、機能的かつ開放的な施設との印象を受けた。この素晴らしい隊舎で、首都東京の安全は自らの手で守り抜くという強い使命感を胸に、皆様が存分にその力を発揮されることを期待している」と祝辞を述べた。

最後に西山三弘警視庁第五機動隊長は、「私ども隊員一同、この素晴らしい新隊舎で平時は鍛錬を重ね、一度災害が発生するなど有事の際は、防災拠点として多くの人々の救出・救助に当たりたい」と決意を新たに謝辞を述べた。

# 第45回 千葉支部激励会

2月9日 ホテルポートプラザちば

## 220名が参集し交流を深める

去る2月9日に開催された第45回千葉支部激励会では、千葉県警察に所属する第一機動隊から第三機動隊、関東管区機動隊、成田国際空港警備隊の機動隊員が参加。会員と合わせ総勢約220名が一堂に会した。

激励会の開会にあたり菅千太郎支部長は、冒頭で昨年の全国での多種多様な警備事案に触れ、「皆様のご活躍は私たち会員の誇りであり、深甚なる敬意を表するとともに衷心より感謝を申し上げる」と機動隊員への謝意を伝えた。そして、「世界情勢は昨年から非常に混迷を深め、政治的にも経済的にも先が見えない状況である。国内に目を転じて、信じられないような事件が引き続き起こっている。国民が最も求めているのは安全で安心して生活できることであり、今ほど皆様に対して期待を寄せることは過去になかったと感じている。国民の期待がますます高まっていることを真正面から受けとめて、崇高な使命を全うして欲しい。」と激励した。

続いて当会の中村真一理事長は、「人出がコロナ禍前に戻って警備の任



「この世を花にするために」斉唱

務が一層厳しさを増す一方で、重要設備の警戒、匿流・サイバー事案など多岐にわたる対応に取り組まれている。また、警備の抜本的強化に関わる取り組みの真価が問われているなか、昨年そして今回の選挙にあたっては警察組織の総力を挙げて警護を完遂された。当会として皆様を励ます活動を今後とも続けていく」と述べた。

来賓の青山彩子千葉県警察本部長



菅千太郎 支部長 中村真一 理事長 青山彩子 本部長 小林宏栄 副所長 土屋千寿子 副支部長



永年功労賞の表彰

は、千葉県内の治安情勢や機動隊の活動について紹介し、「警察を取り巻く環境は厳しいが、社会情勢の変化をとらえた実効ある諸対策を推進し、県民

の皆様が安全と安心を実感できる暮らしの実現に向けて、直面する諸課題に組織一丸となって取り組んでいきたい」と述べた。

続く永年功労賞の表彰では受賞者を代表して亀田久男氏が感謝状を贈呈され、小林宏栄氏(日本製鉄(株)東日本製鉄所副所長(君津地区))による乾杯の挨拶の後、隊員と会員等による懇親会へ。懇親会では、各機動隊による趣向を凝らしたステージパフォーマンスが披露され、会場が笑いや感嘆の声に包まれるなか大いに盛り上がった。

最後に「この世を花にするために」を全員で斉唱し、土屋千寿子副支部長(株ワークス代表取締役)による中締めで閉会した。

## 「はげまし」紙面をリニューアル

機関紙「はげまし」は、昭和49年3月の当会発足から3カ月後の6月に創刊し、これまでに594号を発刊しました。昭和54年9月号(64号)からは、それまでのA3判2頁建からタブロイド判4頁建に紙面を増やし、平成13年4月号(323号)からは、紙面の色や構成を変えるなど全面的にリニューアルしました。

# 第48回 大阪支部激励会

2月12日 住友ビルスカイガーデン

## 万博警備を完遂した隊員に感謝

今回で48回目を迎えた大阪支部激励会は、2月12日に大阪市内で開催され、近畿二府四県の警察幹部や機動隊員が出席。当会会員と合わせ総勢約270名が一堂に会し、会員との親交を深めた。



優秀機動隊員紹介

はじめに木村純支部長は、「昨年は184日に及ぶ大阪・関西万博での警備を見事に完遂された。私たち市民が平穏に暮らし、企業が事業活動に専念できるのも、機動隊員の皆様が日本の治安維持の最後の砦としての誇りと強い使命感を持ち、昼夜を問わず努力されているからであり、改めて心より御礼申し上げます」と述べた。

続いて中村真一理事長は、「万博警備のほか、要人の警衛警護や重要設備の警戒をはじめ、多岐にわたる任務を完遂された。今後も皆様を励ます活動を続けていきたい」と挨拶した。

来賓の村田達哉近畿管区警察局長は、「今年に入ってから奈良県における日韓首脳会談や解散総選挙に伴う警護警備など重要任務に従事してき

た。11月には大阪府での全国豊かな海づくり大会に伴う天皇皇后両陛下の行幸啓も予定されている。災害発生時を含め、昨今は質量ともに以前とは次元が異なる高度な警備活動が求められているなかで、一層の質の向上を

図っていく」と決意を述べた。

また、来賓の鎌田徹郎大阪府警察本部長は、万博警備における当会からの支援について謝意を伝えるとともに、11月開催予定の全国豊かな海づくり大会について、「大阪府での四行幸啓の開催は29年ぶりということで、警備ノウハウの蓄積が薄れているのは気がかりだが、万博警備の成功で培った経験を活かして万全を期したい」と述べた。

続いて全国優秀機動隊員が紹介され、壇上には10名の機動隊員が並び、代表の隊員が謝辞を述べた。

そして、矢ヶ部昌嗣氏（日本製鉄㈱参与大阪支



木村 純 大阪支部長 中村真一 理事長 村田達哉 局長



鎌田徹郎 本部長 矢ヶ部昌嗣 大阪支社長 橋山和生 理事

社長)が、「5年ぶりとなった昨年に続き、今年も激励会を開催できることを大変嬉しく思う。機動隊員の皆様のたゆまぬ努力のもとに、私たちの生活の安全安心が守られていることを改めて胸に刻み、感謝を申し上げたい」と乾杯の発声をしたのちに懇親会へと移った。

最後に、全員で「この世を花にするために」を斉唱。橋山和生理事(協材興業㈱代表取締役社長)の中締めで激励会は盛会裏に終了した。



激励会の様子

今回は、これまで「はげまし」の制作を担っていただいた㈱アイ・コミュニケーションズから日鉄テクノロジー㈱に制作を引き継いでいただくことになり、これを契機に4月号(595号)より紙面をリニューアルします。

具体的には、紙面サイズをタブロイド判4頁建から機関紙などで一般的なA4判8頁建に紙面を増やし、記事も縦書きから横書きにしました。今後も、見やすさと内容の充実にも努めるとともに、全国の機動隊員等の皆さん、会員の皆さんのコミュニケーションの場としても工夫してまいります。(機動隊員等を励ます会事務局)

# 人生二毛作

## ～コートから圃場、教壇へ～

「人生100年時代」と言われる中、生涯にわたってのキャリア構築をどのように行っていけばよいのか。バレーボールの選手・監督として世界を舞台に活躍し、現在は農業従事者、そして大学教員として精力的に活動する中垣内祐一氏に、キャリアの耕し方についてお話をいただいた。



講演会の様子

すべきであり、指導哲学とは「自分がどんな指導者でありたいか」を言葉にしてしっかりと伝えていくものであると説いています。そのチームで何を大事にするのかを明確にすることが、どんな指導態度をとってどんなチーム文

化を作るのかに繋がっていくわけですね。指導哲学がないと一貫した判断基準がないわけですから、選手が戸惑う結果になってしまいます。

### ・チームワークで大切なこと

次にチームワークについてです。良いチームワークというのは仲良しグループとは全く異なるもので、共通の目標達成に向けて最大限の力を発揮できるような役割分担がなされていることが重要です。モチベーションの向上もチームワークにおけるポイントですが、そこで大切なのは、チームの構成員が「自分の強みでみんなを助けよう！」という思いを抱けるかどうか。それは翻って、個々のメンバーには苦手なことがあつていいということにもなります。強みを活かして苦手を共有していくという考え方がですね。これがチーム作りの基本になってきます。

MITのリサーチに「成功循環モデル」というものがあります。関係の質、思考の質、行動の質、結果の質という4つの質が循環するかたちで構成されます。このリサーチで

### 1. チーム作りの本質

本日は「人生二毛作」というテーマで、私自身がバレーボールを通して学んできたマネジメント手法、そしてその後に取り組んでいる農業についてお話してまいります。

まず、指導者としてチーム作りを行ううえで必要なのは、①フィロソフィー、②コンセプトの明確化、③スキルの向上、④チームワーク、⑤人材の発掘、⑥戦術の構築であると私は考えていますが、その中から特に2点、①と④についてお話しします。

### ・フィロソフィーとは

フィロソフィーすなわち指導者としての哲学とは何か。例えば挑戦を重視するコーチであれば、チーム内にチャレンジしていく文化が育つ。逆に極端にミスを許さないコーチであれば、伸び伸びとプレーできないチームになってしまいます。わかりやすい例かもしれませんが、指導哲学は選手の行動様式そのものに影響していくものであります。

プロ野球の野村克也さんは著書の中で、「哲学を持たざるものは、リーダーにあらず」と言っています。そして管理者あるいは指導者は、自分の価値観や目的を明確に



●2月19日のゲスト.....

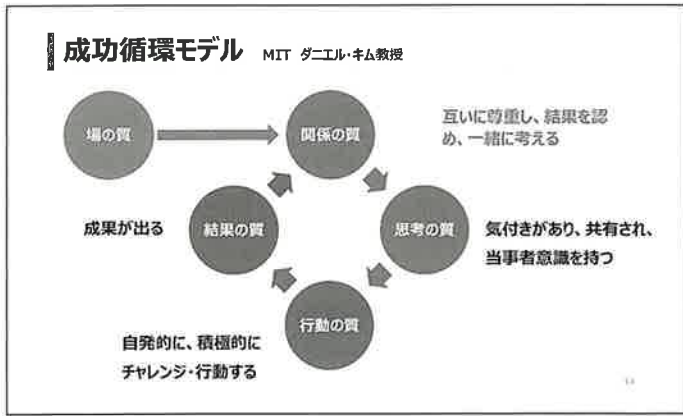
なか が い ち ゆ う い ち

## 中垣内 祐一 氏

・福井工業大学スポーツ健康科学部 教授  
・株式会社農好社 代表取締役

### PROFILE

1967年 福井県福井市生まれ/1990年 筑波大学卒業後、新日本製鐵株式会社(現日本製鐵株式会社)入社/1992年 パルセロナ五輪出場(6位)/2017年 バレーボール男子日本代表監督就任(2021年、東京五輪7位)/2022年 日本製鐵株式会社退社/同年7月 株式会社農好社入社(同年11月より代表取締役就任)/同年10月 福井工業大学スポーツ健康科学部教授就任



図表1 成功循環モデル

は、多くのチームは結果を求めるところから入るので失敗すると言っています。それではどうすれば成功するのかと言うと、まず関係の質、場の質を改善することからスタートすべきであると。関係の質が変わるとお互いに尊重して、結果を認め合い一緒に考えるようになる。そうすると思考が気付きを共有し当事者意識を持つようになり、さらには自発的かつ積極的にチャレンジ・行動していくことに繋がって結果が出るという流れです(図表1)。

## 2. 選手の成長を促すもの

勝つチームには勝つチームの文化が、弱いチームには弱いチームの文化が、間違いなく存在します。組織の明文化された規則だけでなく、暗黙則と言われるものなども含め、チームが持ついろんな雰囲気や「チームカルチャー」と言います。先ほど申し



講演中の中垣内氏

上げた指導者の哲学が、選手と指導者の日々の行動にリンクし、それらが選手の習慣に繋がって行って、その集団としての文化に育っていくという流れになるわけです。それは以前なら伝統とか組織風土と呼ばれていたものだと私は思いますが、スポーツの世界では、若手選手の成長や引き上げに重要な役割を果たすこのチームカルチャーをい

かに構築していくかが、指導者の手腕の一つだと言われます。コーチングに正解はありません。最新のリサーチなどがある中で、様々な方法を使いわけながら回していくのが良いのではないかと思います。

## 3. 日本の農業の現状

ここからは農業の話です。私の会社では、江の島の大きさとほぼ同程度の約37ヘクタールの田んぼを耕作しています。規模で言うと大規模に分類されますが、大規模の中の小規模農家というところなんです。

耕作放棄地という言葉をお聞きになったことのある方は多いと思います。2020年時点で全国に約42万3千ヘクタールあり、ちょうど福井県と同等の面積で、東京都の面積のほぼ倍くらいです。これは大きな課題ではありますが、そこで全部米作りをしてしまうと米余りになり、それはそれでまた大変になって

しまうというところがあります。獣害の問題も深刻です。特に中山間地では柵をきちんと管理していないと、まともに米作りをできない状況になっています。

「今年は米価が高いから儲かったでしょ!?」と昨年、何回も言われました。実際に私の会社も売上の的には前年比で約1.5倍になりましたが、その売上増をすべて収益にできたかというところと全くそういうことはありません。増益分は今までできなかった農機具購入の費用となりました。私たち農家はいかに儲けようではなく、いかに米作りを続けられるようにするかしか考えられないというのが現状です。

もし新規参入者が中規模程度の米作りをしようと思えば、育苗から出荷までに必要な

機械や設備を新しく買ったとしたら合計でおよそ2億8千万円にもなってしまいます。こんな投資は現実的ではありません。米作りにかかる実際のコストは、農林水産省の資料によると一俵=60kgあたり1万1千円で(図表2)。昨年は利益が出ましたが、これまではずっと赤字。それで何故やってこれたかと言うと、日本の農家の多くが兼業農家で、本業で稼ぐのでなんとか食っていったからです。ところが、兼業農家が徐々に減ってきていて、世代交代もうまくいかない方々が私たち専業農家にどんどん田んぼを渡してくるわけです。そうすると、私たちは営利団体ですから米価が安くては続けられません。これが日本中で起こっていて、今後は米作り専業の農家が作る米を皆さんは食べていくことになると思いますし、自ずとある程度の価格でないと米作りは継続できないことにもなってくると思います。

**米作りにかかるコスト (2023年産米)**

23000円/60kg...全国買取業者平均

生産コスト

27500円/60kg...	0.5ha以下
17000円/60kg...	1~3ha
15000円/60kg...	3~5ha
12400円/60kg...	10~15ha
11000円/60kg...	30~50ha
11000円/60kg...	50ha以上

農林水産省「農産物生産統計」より

図表2 米作りにかかるコスト

## 4. 未来の米作りに向けて

今後の米作りには様々な課題があります。気候変動に伴う高温化と水不足によってデンプンの形成不良に起因する白濁米が増えてきています。また、侵略的外来生物と呼ばれる、今までになかったような雑草や病害虫も増えています。それから後継者不足という問題もありますが、私たちの努力によって、高収入化や労働環境の改善を少しは促していけると思います。

農業に関するテクノロジーについては、例えば今は軽油で動いている農業機械の電動化を考えていくべきではないかと私は思

# Member's Lounge メンバーズラウンジ

います。また最近では、再生二期作や乾田直播といった新たな栽培方法もどんどん進んでいます。最終的には工場で作るかのよう田んぼを何階層にもして、土地を有効活用しながらお米を作っていく。そんなことも研究されているようです。

未来の米作りに向けては、大規模な農地整備が必要だと思います。それと、兼業農家が支えてきた米作りから、徐々に専業農家が行っていく米作りにシフトしていく中で、ある程度の利益がないと事業を継続していけないというところで、国民の皆さんの米価に対する理解向上も必要でしょう。さらに現状の補助金制度では、欲しい時に欲しい人に補助金が出ない仕組みになっています。これをもう少し改善してもらいたいです。

## 5. キャリアを耕し直す極意

町内会は煩わしく、田舎暮らしは何かと面倒です。昨年は盆と正月を除けば本当に

1日しか休めませんでした。来年には還暦を迎えますし、体にいろいろと不具合が出てきて非常に厳しいものがあります。他人の田んぼを耕したり、乾燥後に品種を混ぜてしまったりなど、失敗もたくさんしてきましたが、それでもやっぱりお客さんから直接「美味しかった」と言ってくれただけで嬉しかったです。

「お金じゃない」と強がりには言うものの、会社員を辞める際には不安がなかったわけではありません。私は55歳になって大学の教員になりましたが、やりようによっては全く新しい仕事でもやってできるという自信にもなりました。

農業もそうですし、教員もそうですけれども、自分の経験から考えて、キャリアは何度でも耕し直せるものではないでしょうか。要は仕事に対する責任感や誇りがあり、自己を向上させたいという思いがあるかどうか。それらは何の仕事においても、

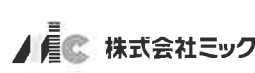
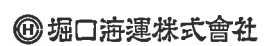
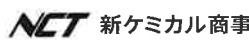
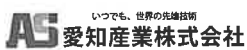
真のプロフェッショナルになっていくためには欠かせない要素です。あともう一つ重要なのが健康。それがあれば、何度でもキャリアを作っていけると思います。

## 講演後質疑応答

**Q** 先般の衆院選における自民党圧勝という結果をどのように受け止めておられますか。

**A** 現在の鈴木憲和農林水産大臣の農業に対する考え方は保守的であり、従来通りのJAと共にある米作りは継続されていくと思います。一方で、私はもう少しインパクトのある政策が欲しいなとも思っています。それが何かは私にはまだわかりませんが、今後、若者の就農に繋がるような政策が出てくるとなるとお良いかと思います。

## 今月の賛助広告会員



### 編集後記

4月から新年度を迎え、新たな門出を迎える方も多いと思います。「はげまし」も4月号より紙面をリニューアルし、新たな気持ちで新年度を迎えました。より充実した機関紙にしていきたいと思っています。

はげまし  
No.595  
令和8年4月号

発行日 令和8年4月3日  
発行所 一般社団法人機動隊員等を励ます会  
発行人 中村真一

事務局 〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町3-2-10 鉄鋼会館  
TEL.03-5614-0710 FAX.03-5614-0719  
Web: <http://www.hagemashi.com/>  
Mail: [jimukyoku@hagemashi.com](mailto:jimukyoku@hagemashi.com)